

実習内容
ならびに
スケジュール

放射線科

曜日	内容	担当	集合時間	集合場所
月	オリエンテーション	山門	8:55	8号館6階 医局
	CT・MRI基礎 TF※説明 (TF：ティーチングファイル)	吉村		8号館地下1階 カンファレンス室
	核医学・PET概論	北島	13:30	PETセンター1階 カンファレンス室
	TF閲覧（自習）			8号館地下1階 読影室
火	骨軟部画像診断 中枢神経画像診断 TF閲覧	池田	9:00	8号館地下1階 カンファレンス室
	腹部画像診断・PACS使用法説明	高木	13:30	8号館地下1階 カンファレンス室
水	IVR実習	山門	8:45	急性医療総合センター 1階 IVRセンター
	小児画像診断 骨盤・婦人科画像診断	河中	13:30	8号館地下1階 カンファレンス室
	TF閲覧（自習）			
木	教授回診	山門	8:00	8号館6階 医局
	胸部画像診断 X線TV	児玉 横山	9:00	8号館地下1階 カンファレンス室
	CT・MRI・IVR・放射線治療 部門に分かれて実習	各担当医	13:30	各検査室
金	腔内照射・RALS	鈴木	9:00	8号館地下1階 カンファレンス室
	放射線治療外来見学 / TF解説	富士原 / 河中		放射線治療室
	放射線治療	富士原	13:30	8号館地下1階 カンファレンス室

◎ 診療科名： 放射線科

◎ 責任者氏名： 山門 亨一郎 主任教授

◎ 指導教員氏名： 富士原 将之 教授

◎ 実習概要

1. カンファレンス、2. 教授回診、3. 画像診断実習、4. IVR実習、5. 放射線治療外来見学、6. 放射線治療計画実習、7. RALS・腔内照射見学、8. ティーチングファイル閲覧による画像診断、9. 講義、などを行い、放射線医学（画像診断、核医学、IVR、放射線治療）領域における的確な診断と治療方針の立案を目指す。

◎ 各診療科における到達すべき学修成果（アウトカム）

（臨床実習の授業概要「到達目標（アウトカム）」に準拠する）

画像診断・核医学：

- ①CT、MRI、核医学検査、X線 TV 等各種検査の適応についてアセスメントができる。
- ②核医学検査に用いる放射性医薬品、撮像方法について論述できる。
- ③各種疾患の画像所見と鑑別を要する疾患について論述できる。
- ④異常所見について読影ができる。

血管造影・IVR：

- ①IVRの種類と適応・方法・治療成績について論述できる。
- ②血管造影の画像所見について論述できる。
- ③血管造影・IVRの合併症について論述できる。

放射線治療：

- ①がん診療における放射線治療の適応についてアセスメントができる。
- ②各種疾患に対する照射方法、線量、治療成績について論述できる。
- ③放射線治療の副作用（急性期、晩期）について論述できる。
- ④放射線の種類、放射線治療装置の名称について論述できる。

放射線防護：

- ① 被ばくによる障害および放射線防護について論述し、実践できる。

◎ 準備学習ならびに事後学習に要する時間

- ・事前に過去の講義資料（2-4年生時）に目を通しておくこと（1日）

◎ 評価方法

知識、態度（積極性）、コミュニケーション、プレゼンテーション技術（構成、スライドの見やすさ、伝え方など）について評価。

評価基準をループリックで明示。

	1	2	3	4	5
知識★	代表的な疾患の画像所見について、理解できない。 IVR および放射線治療の治療計画と副作用について、正確に解説できず、指導によっても理解できない。	代表的な疾患の画像所見について、検査所見を概ね理解している。 IVR および放射線治療の治療計画と副作用について、正確には解説できないが、指導を受けることで実施できる。	代表的な疾患の画像所見について、各検査の所見を理解している。 IVR および放射線治療の治療計画と副作用について概ね説明できる。	代表的な疾患の画像所見について、各検査の所見と鑑別疾患を理解している。 IVR および放射線治療の治療計画と副作用について正確に説明できる。	代表的な疾患の画像所見について、各検査の所見と鑑別疾患を理解し、その理由を評価できる。 IVR および放射線治療の治療計画と副作用について正確に説明し、その理由を評価できる。
態度（積極性）★	欠席、遅刻、自主的に学習しない。	問題なし 支援を受けながら知識を習得した。	必要な知識および技能を自主的に習得した。	課題を発見し、必要な知識と技能を自主的に習得した。	意欲的に関連事項を学び、学習成果を挙げ、知識と技能を習得した。
コミュニケーション★	対人関係の問題、患者や医療スタッフからのクレーム。	明らかな問題なし。	患者および医療スタッフとの良好な対人関係構築ができる。	患者および医療スタッフから信頼を得る。	医療者としての信頼を得る。

プレゼンテーション技術 (構成、スライドの見やすさ、伝え方など)	画像所見や病態について、所見レポートとしてプレゼンテーションすることができない。	画像における異常所見を概ね理解し、所見レポートとしてプレゼンテーションできる。	画像における異常所見を理解し、所見レポートとしてプレゼンテーションできる。	画像における異常所見について、病態についても概ね理解し、所見レポートとしてプレゼンテーションできる。	画像における異常所見について、病態についても理解し、所見レポートとしてプレゼンテーションできる。
-------------------------------------	--	---	---------------------------------------	--	--

◎ 中間評価とフィードバック

中間評価は行わない。

◎ 注意事項

- ・初日は、8時55分に、8号館6階 放射線科医局に集合すること
- ・木曜日8時00分からの教授回診には必ず出席すること
(集合場所は、8号館6階放射線科医局)